

『多機能型障害福祉サービス施設 きらぼし』 工賃向上計画書

(平成20年3月3日策定)

I 事業所の概要			
事業所名	多機能型障がい福祉サービス施設 きらぼし		
事業所種別	就労継続支援B型事業、就労移行支援事業	定員	30名
管理者	市野輝章	担当者	三浦昭博
開設年月	平成19年4月	新体系移行(予定)年月日	平成19年4月1日
所在地等	(〒080-0106) 住所 河東郡音更町東通13丁目3番地 電話(0155)42-2236 FAX(0155)42-2237 e-mail staff@kouyouen-selp.jp ホームページ http://www.kouyouen-selp.jp		
設置主体	社会福祉法人 更葉園		
運営主体	社会福祉法人 更葉園		
開設目的(理念) (定款等から記載可)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの人権と個性を尊重し、自己選択や自己決定により活動出来るように支援を行い、地域活動の中で可能な限り自立し、社会参加し、充実した生活を送れる様に援助します。 ・地域に開かれた施設運営を行い、利用者の能力を的確に評価し、それに基づいて適切な指導を行い、教育・研修活動に力を注ぎます。また、利用者のライフステージを考え、就労支援・生活支援を継続します。 		
運営方針 (定款等から記載可)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供するよう努めるものとする。事業の実施に当たっては地域の結びつきを重視し、市町村、指定障害者支援施設や障害福祉サービスを行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。 		
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (20年2月6日現在)	身障	1級 6名、2級 14名、3級 2名、4級 4名、5級 2名、6級 0名	
	知的	A 1名、B 3名、B- 0名	
	精神	1級 0名、2級 0名、3級 0名	
	その他	0名(診断書等による者)	
利用者の男女の別	男性 16名(平均年齢47歳) 女性 11名(平均年齢46歳)		
利用者への福祉的支援(観点)に関する特徴、配慮(送迎、余暇等)	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスを実施しています。また、出来るだけ自力で地域に出て行けるように今年度よりタクシー券とガソリン券を配布しています。 ・利用者に対しては、昨年4月に今年度の事業計画を初めて説明し事業に対する理解をしていただく配慮をしています。 		
工賃向上対象以外の実施事業	・就労移行支援事業		

<p>工賃の決定・支払方法</p>	<p>日額支払いで行っていますが、訓練等の計画に定める実作業時間に応じた工賃支給を勘案して新年度から時給制に変える予定です。利用者の工賃は、直接的な能力(仕事の速さ・正確さ)、作業を行う上での能力(積極性・態度・協力性・整理整頓・責任感)、一般的な能力(出勤・時間・生活面)、その他(貢献度)を数値化し評価をして決定しています。</p> <p>また、出勤率により年額75,000円の賞与(3回に分けて)を支給しています。その他に業績により決算手当を17年・18年と過去2年間支給しています。</p>
-------------------	---

II 授産作業の内容

	作業名	内容(簡潔に説明)
①	簡易科(せせらぎ-27名)	<ul style="list-style-type: none"> ・柳月お菓子の箱組み立て、缶詰のラベル貼りなどの受注事業 ・防寒着、作業服等の製品の最終工程作業で、糸を切る作業を受注しています。 ・缶詰やドレッシングボトルにシールを貼り付ける作業を受注しています。
②	製袋科(せせらぎ-20名)	<ul style="list-style-type: none"> ・町村の有料ゴミ袋の委託加工を行っており音更町・土幌町・上土幌町・幕別町・池田町から受注しています。
③	手袋科(おとわ-18名)	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手の生産事業(平成20年7月で終了予定)
④	まくら再生科(おとわ-12名)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間会社からの病院等で使用したまくらクリーニングの受注事業(平成20年7月からは現在の受注量の約1.7倍程度になります。)
⑤	印刷科(きらぼし-11名)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙印刷・タオル印刷・年賀状印刷が主力となっており、民間からの受注が80%です。中でもタオル印刷は、十勝管内に2社です。
⑥	農園科(おとわ-5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を目的に減・無農薬の野菜づくりを行っています。
⑦	売店科(きらぼし-2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・授産事業製品及び飲食の販売と共に更葉園から地域への情報発信拠点となっています。
⑧	リサイクル科(おとわ-2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・食廃油を地域から収集し、環境に優しいリサイクル石鹸(固形、粉末)の製造を行っています。
⑨	納豆科(おとわ)	<ul style="list-style-type: none"> 納豆の製造(平成20年10月開始予定)

・()内は施設名と利用数を示します。

注1 作業に従事する利用者が多い順にすべて記載してください。行が不足する場合は、適宜、挿入してください。

Ⅲ 目標工賃の設定

(1) 目標工賃 ※「目標工賃設定シート」(エクセルファイル) から転記すること。

			目標			対 19 年度比 (%)
			現状 19 年度	20 年度	23 年度	
A	目標平均工賃 (円)	E÷F	21,177	23,456	30,000	141.6
B	年間総収入 (千円)		81,350	80,419	92,250	113.3
C	年間総原価(工賃除く)(千円)		53,150	52,830	54,000	101.5
D	工賃支払前収支 (千円)	B-C	28,200	27,589	38,250	135.6
E	年間工賃総額 (千円)		24,396	27,585	36,000	147.5
F	年間延べ利用者数 (人)		1,152	1,176	1,200	104.1

「C 年間総原価(工賃除く)」は、別添エクセルシートの「原材料費・仕入原価」とその他の経費を合計したものになります。

Ⅳ 目標達成に向けた取組

(1) 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

・各事業毎に収支の分析を行ってみると手袋科については、毎年500万円の赤字、糸切り科については毎年200万円の赤字となっており、他の事業で穴埋めし全体としての収支は、平成18年度で粗利13.3%を計上できるほど業績は良いと判断されます。そこで、赤字事業の廃止により収益を上げ、支出を抑えることによって工賃に反映させます。また、事業削減に伴い新規事業を展開し利用者の皆さんに生産活動の提供をし、更なる工賃向上を目指します。

② 取組の基本方針と具体的方策

基本方針	i) 手袋(軍手)科及び糸切り科の2作業を廃止し、製袋作業と印刷作業を核とし新事業の納豆の生産により全体の工賃アップを図ります。23年度までに平成19年度比41.6%アップし3万円以上を目指します。
具体的な取組方針	i) 製袋作業の受注営業を十勝管内の市町村や全道の市町村への拡大を目指します。 ii) 印刷科は、デジタル業務への移行検討をし提案型商品開発を目指します。 iii) 売店は、新規飲食メニューの追加により増収を目指します。 iv) まくら再生科は、受注量を増やし増収を目指します。 v) リサイクル科は、液体化を実現し増収を目指します。

③ ②の基本方針に関する現状と課題

経営的な視点	当施設として、今後は生産力向上と、営業活動に力を入れていきます。(具体的には(2)に記載。)しかしながら、十勝管内においては、障がい者の就労についての世間の認識がまだまだ遅れていると言わざるを得ません。このような中で営業活動を行っても、まともな取引先として検討していただけないことが多いと感じています。また、最大の弱点と感じることは、情報の収集能力が不足していると常々感じております。この点を打破するのも、今後の課題です。
--------	---

<p>福祉的な視点</p>	<p>当施設の存する音更町には、精神・知的・身体障がい者の施設があります。そこで、この3施設がお互いに施設の現状を理解しあうことを最重点に考え、現場で活躍する保健師、理学療法士、看護師、支援員等の交流促進を図り、福祉現場で働く職員のスキルアップを目指し、最終的には、職員の人事交流を目的に介護職員研修会という名称で研修会を当園で昨年初めて開催しました。</p> <p>このように、障がい者の自立支援を行っている施設がいくつもありますが、今まで、互いの連絡は乏しいのが現状です。設備や知恵を共有する余地はあると思いますが、そうしたことを積極的に試みてみようという地域の有効な資源活用にはなっておりません。</p>
---------------	---

現段階で考えられる改善の方策と、行政、福祉団体、経済団体、企業、住民等に望むこと

<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動の柱となる印刷事業と製袋事業では、市町村との随意契約により受注の窓口の拡大を望みます。 ・職員の教育訓練として研修等が、中央（札幌市）中心開催となっておりますが、同じ研修を出来るだけ地方都市で開催していただければ、旅費等の削減にもなりますし多くの職員が参加できることが可能になると思います。 ・企業や住民の皆さんに障害に対しての理解促進を図るために、職場実習の機会が増える施策をお願いします。

(2) 作業別の取組方針

- ※ 複数の作業科目がある事業所は、従事する利用者の多い作業から順に3つまで記載すること。
- ※ 取組方針欄は、該当項目を囲むこと。
- ※ 利用者の状態や福祉的支援についても考慮して記載すること。

作業名	印刷科			
取組方針	強化	現状維持	縮小	撤退
理由	<p>(理由)</p> <p>収入額及び収益については、当施設の主力です。現在は利用者11名が従事しております。平成16年度売上31,063,948円だったのが年々減少し、平成18年度では27,578,889円に、さらに平成19年度は25,000,000円まで落ち込む予想です。印刷科の強化をすることによって施設全体の収益をアップし、全体の工賃アップにつなげていきたいと思っております。</p> <hr/> <p>経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>〔強み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タオル印刷を行う企業が十勝管内に2社で、その内の1社が当園です。 ・利用者みんなが営業活動を行っています。（年賀状） ・モノクロ印刷なら自社で対応出来ます。 ・タオル印刷機等機械に携わる利用者がいます。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・町内では、30年以上の印刷実績があり、顧客から顧客へのつながりで受注しています。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー印刷が出来ないので外注で対応しています。 ・技術の高い利用者は就労に向かうため人材不足です。 ・専門知識を持っているオペレーターがいません。 ・官庁関係の安定した受注が多くありません。 ・ホームページを通じて商品のPRが不成熟です。 ・生産量に限界があります。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙印刷については、総売上の66%を占め、地域に定着しつつあります。 ・タオル印刷については、12.6%、その他（ハガキ、切手売上）が21.4%の売り上げ構成比となっています。 ・音更町の人口が増えています。 ・音更町の学級数の増加があります。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッターフィルムがコダックで製造中止となり、2年程度の在庫しかありません。 ・ここ数年の受注状況を見ると紙印刷はあと2年程度で更に減少すると見込まれます。 ・平成19年より紙の値段が10～15%値上げになっています。 ・家庭や事業所にパソコンの普及が進んでいます。 ・小規模の印刷店（はんこ屋など）の進出があります。 ・社会現象では、少子化が進んでいます。 ・オフセット印刷機と凸版印刷機が故障した場合、部品の生産がされていません。 ・インク、感圧紙の値上げが予想されます。
目 標	<p>印刷科は、現状を維持することから手がけて、平成23年には、28,000,000円以上の売り上げを目指し、ひとり一人の生産が増えて支出を抑えて工賃水準が向上することを目指します。</p>

<p>具体的な 目標達成策</p>	<p>①収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約を活用し安定した販路拡大(道の出向先への営業)をします。 ・ 年賀状受注の販路拡大をします。 ・ 年賀パック取り扱い店舗の拡大をします。 ・ 団塊の世代退職者等の自費出版受注を行います。 ・ タオル印刷、カレンダー印刷の売店受注をします。 ・ 商品開発としてデジタルフォトブックの受注販売をします。 ・ イベント参加により紙印刷、タオル印刷のPRを行います。 ・ 納豆包装の為にシルク印刷機(紙以外にも印刷可能)を導入し、さらに提案型商品の開発をします。 ・ 求人情報、顧客、新聞(地方紙)などの媒体を通して新規開業事業所、記念事業などの情報収集を行います。 ・ ネットショップ KOUYUENでの受注を目指します。 ・ レイアウト作業を利用者に拡大し、利用者の技術力の向上を目指します。 <p>②支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年度作業場の配置替えにより作業動線の改善を行います。 ・ 現状3%の印刷ミスを2%以内に抑えます。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場管理の安全管理(S)・品質管理(Q)・原価管理(C)・工程管理(D)の標準化を行います。 ・ PDCAのサイクルが廻るように定期的に経営会議を開催し、他事業の問題点や売り上げ目標達成状況を確認し、未達成の場合は改善指示をします。 ・ 『提案制度』を導入し、職員や利用者の改善意欲の向上を図ります。 ・ 利用者の技術向上のためにパソコン教育を実施します。 ・ 作業所毎の改善会議を2回/月開催します。 ・ 利用者の健康管理に留意し、出勤率を、現在の92%から、95%以上を目指します。 ・ 作業方法を見直し、より重度の障害のある利用者でも可能な作業を増やします。 ・ 利用者の技能の向上を図るため、指導員の指導スキルを研究します。 ・ 年間を通してコンスタントな生産計画を維持することで、工賃の安定を図ります。
-----------------------	--

作業名 ②	売店科
取組方針	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">強化</div> 現状維持 縮小 撤退
理由	<p>(理由) 平成16年9月に地域に向けた情報発信拠点として、開店して、平成17年には480万円の売上げがありましたが、18年は380万円、今年は自販機の販売が好調で400万円台に返り咲きしそうですが、まだまだ売上げを伸ばせる可能性もっています。そのためには、こだわりの商品開発、ここでしか買えない商品開発等、「人を集める」PR企画を基本とし、増収、増益を目指し全体の工賃アップにつなげていきたいと思ひます。</p> <p>経営環境分析 ※ 内部環境 ([強み]、[弱み])、外部環境 ([機会]、[脅威]) を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。</p> <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトクリームのお味とこだわりコーヒーです。 ・ 農園科で生産した芋を加工してつくったイモダンゴです。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規事業展開を考えていますが現状のスペースが狭いです。 ・ 秋以降に目玉商品がありません。 ・ 看板、ライト等にインパクトが足りません。(夕暮れ時) ・ データー分析が乏しく次の展開に生かされていません。 ・ 車通りから離れていて、交通量が少ない立地条件となっています。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣味活動 (絵画・写真・絵手紙など) をしている方が地域に多いのが特徴です。 ・ 売店の前が犬の散歩の通り道になっています。 ・ 昨年、バス停が更葉園の前に移動しました。 ・ 町内会に加盟し、夏祭りなどの行事にも参加しています。 ・ 近隣に住宅地が造成される予定です。(平成20年度) ・ 音更町の人口が増えています。 <p>【脅威】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食を新規に扱おうと思ひていますが、周囲に飲食店が15店舗あります。 ・ 新規参入の業者が増えています。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度には、平成19年度比53%の収入増を図ります。 ・ 飲食販売については平成21年度には軌道に乗せ、年間1,200,000円収入アップを目指します。 ・ 平成21年度には、日曜日営業を行い収入800,000円アップを目指します。

<p>具体的な 目標達成策</p>	<p>① 収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示スペースの活用を1ヶ月単位としておりましたが、期間を短くして集客を図ります。 ・ 農園野菜の加工により付加価値を付けて販売します。 ・ ホームページや商品にQRコードを付けて、PRします。 ・ 見本の作成によりタオル・年賀状の受注拡大をします。 ・ 平成20年度は、試験的に日曜日営業を実施し来客状況の調査をし、次年度に反映します。 ・ 利用者の商品PR技術の向上を目指し、お客様の購買意欲を高めます。 <p>② 支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶メニュー提供時のロスを削減をします。 ・ 経費(電気・水道・燃料など)のコストダウンをします。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日の営業については、職員の当番制で行っていましたが、専属のボランティアを配属することによって提供する商品の品質アップを図ります。
-----------------------	---

◎新規事業、あるいは設備投資による大幅な規模拡大を計画している場合は、次項も記載してください。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲むこと。

作業名	納豆工房
取組方針	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">新規</div> 大幅な規模拡大
商品・サービスの 内容	納豆の生産・販売
顧客・市場規模・ 販路	<p>(対象顧客)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、病院、十勝川温泉、学校、スーパーマーケット、帯広刑務所、少年院 ・売店、イベント販売、一般世帯 <p>(市場規模)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯広、音更商圏 69,527世帯対象で397,800,000円の市場です。 <p>(販路) ※製造業、農業等の場合に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯広、音更商圏スーパー47店舗 ・福祉施設、病院、十勝川温泉、学校、スーパーマーケット、帯広刑務所等
競合と差別化	<p>(ライバルの状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十勝管内には、強豪7社があります。 <p>(差別化の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納豆の材料は、大豆・水・納豆菌の3つです。そこで、豆には音更産そして水にもこだわって商品開発を行います。
設備投資と資金	設備・施設改修・運搬車の購入資金として28,425,000円程度かかる見込みです。
収支と工賃	キャッシュフロー図参照

V 取組の年次計画

※取り組む事項を簡潔に記載してください。

19年度 (実施済を含む)

- ・ 商売繁盛班による新規事業の提案

20年度

- ・ 理事長をトップとする経営会議を設置
- ・ 手袋科、糸切り科事業廃止(7月末)
- ・ 施設改修工事8月開始予定
- ・ 納豆事業10月開始予定、身体障害者授産施設「おとわ」新体系へ事業移行
- ・ ホームページの更新

21年度

- ・販路拡大
- ・生産体制、営業体制の見直し

22年度

- ・販路拡大
- ・生産体制、営業体制の見直し
- ・新商品の開発

23年度

- ・身体障害者授産施設「せせらぎ」新体系へ事業移行

(以下は、可能であれば記載してください。)

○固定資産の状況

※19年度の減価償却費の大きなものを中心に、可能な範囲で記入してください。(単位：千円)

資産名 (作業科目)	取得年	取得価額 (耐用年数)	19年度末 償却済額	減価償却費 (19年度)	減価償却費 (20年度)	減価償却費 (23年度)
KGS-851 製袋機 (製袋科)	2004.10.20	9,817 (10年)	3,092	883	883	883
イメージセッター (印刷科)	2002.4.30	8,137 (10年)	4,394	732	732	732
ワセト印刷機 (印刷科)	2004.3.31	7,665 (10年)	3,391	689	689	0

○投資計画(設備の内容、資金調達方法)

(単位：千円)

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業(事業)名：印刷科			
a 設備名 シルク印刷機	800	自己資金	8,200
b 設備名 冷蔵庫設備	1,600	借入	20,225補助金
c 保冷車	2,600	その他	
d 設備名 蒸気ボイラー	1,800		
e 建物改修工事	15,225		
f 運転資金等	6,400		

○積立金の状況

※授産事業と関係の深い積立金等があれば記入してください。

(単位；千円)

積立金名	目的	19年度末積立額	23年度までの使用見込み
音更町農業協同組合	設備整備積立（授産）	43,594	43,594
音更町農業協同組合	工賃平均積立（授産）	11,350	11,350
音更町農業協同組合	備荒資金積立預（授産）	20,000	20,000
音更町農業協同組合	授産運用積立金	24,371	16,171
合 計		99,315	91,115